



町長室だより

築上町長 新川 久三



○一年間

ありがとうございました

町民の皆様には本年も一年間、町長室だよりを読んでいただき、また日頃から、町政にご理解を賜っていることに御礼申し上げます。

「光陰矢の如し」という言葉がありますが、早くも師走になりました。1年が経つのは早いもので、3月11日の東日本大震災から8カ月以上が経ちました。東日本の被災地に対する皆様の義援金は、これまでに町費と合わせて1,800万円を超えております。また宮城県の東松島市と石巻市には、8名の職員を派遣し業務に当たりましたが、職員はそれぞれ貴重な体験を積むことができたものと思います。

7月24日には町議会議員の選挙が行われ、4名の定数減の中16名の町議会議員が決まりました。

10月14日には、椎田小学校の姉妹校である中国南京市の中日友好希望小学校と築城小学校の姉妹校である金檀市の薛阜中心小学校に、本町の小学校から代表団を派遣しました。

○本町出身松鳳山関、

琴禮さん九州場所頑張る

本町出身の二名の相撲取りが、九州場所で頑張りました。

松谷改め松鳳山関は、前頭15枚目で大健闘をしました。関取には幕内定着をして、三役を目指すよう皆様とともに応援をしたいと思っております。

琴禮さんは幕下23枚目でしたが、

今後、幕下上位、さらには再十両を目指して頑張ってもらいたいものです。

二人の応援をよろしく願います。

○町職員の応対について

町職員の応対が「良かった」とか「悪かった」という電話が町長室にかかったり、匿名の手紙をいただきます。

まず、良い例を挙げますと役場に電話をした時、「用件を聞き要点を分かりやすく説明してもらい、親切で非常に良かった」等、町職員の応対に賛辞をいただきました。また、窓口の応対についてもお褒めの言葉をいただいたこともあります。

さて、悪い例ですが、「方言を多く使い、聞きたいことが分かってない」「同じ課であるにも拘らず、自分の仕事ではないとの理由で応対しようにもしない」「上司が部下の仕事が分かっていない」等々の苦情が

あります。

これら皆様からの苦情については、職員には答えが分からないときは、後刻調べてお答えするよう指導をしています。今後とも、職員には町民の皆様が不快にならないような応対に努めるように、前より増して指導の徹底をまいります。

年末は繁忙となります。風邪等に気をつけてご自愛いただき、良いお年をお迎えください。

